

(様式2)

令和 元 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570104032		
法人名	株式会社 はあとふるあたご		
事業所名	はあとふるあたごグループホーム新津		
所在地	新潟市秋葉区荻野町2番26号		
自己評価作成日	令和元年10月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiigokensaku.niigata.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_1_2017_022_kan-i=true&JigyosyoCd=1570104032-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和元年11月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の方が普通に我々と変わらない生活が送れるようにスタッフ一同スキルアップに努めている。
開かれた事業所を目指し、積極的に外出したり、地域の行事に参加したりしている。
(今年初めてRUN伴にも参加)
事業所主催のイベントも外部に声をかけられるようなイベントにシフトしようとしている。
地域への認知症啓発のため、週に1回認知症カフェを開催している。
今年から認知症サポーター養成講座を行っている。(区からの委託1回実施)
隣接している看護小規模多機能施設との連携を大事にしている。
共用型デイサービスを運営し、地域でお困りの方に新しい選択肢を提供できている。
場合によっては短期利用も可能。夜間の様子をお伝えし、在宅での生活に役立ててもらっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 地域に根差した事業所として
事業所は開設16年目を迎え、認知症の利用者を対象とした施設として、「認知症カフェ」の開催や地域の方々に認知症の理解と対応の仕方や、認知症の方が地域で見守られながら生活が継続できるよう「認知症サポーター養成講座」の講師を務めたり、学童保育の職業体験の受け入れ等に積極的に取り組んでいる。地域住民だけでなく近隣の福祉施設とも交流し、さまざまな活動を通して、共に地域を盛り上げている。また共用型デイサービスも運営しており、グループホームという閉鎖的な空間に外からの風をもたらし、利用者にとっても地域の方と触れ合う機会となり相互に良い刺激となっている。
- 理念の共有と実践について
法人理念を基に、事業所理念や現場の職員が話し合い決めたユニット毎の支援の指針がある。集団生活の中で、利用者のこれまでの生活を踏まえ、利用者のできる力を引き出し、一人ひとりの思いに寄り添い、個別性を重視した内容となっている。指針を念頭に職員全員が、同じ方向性を持ち利用者への支援に努めている。職員の日々の取り組みが利用者の穏やかな表情からも窺える。
- 運営推進会議を活かした取り組みについて
多彩なメンバーで構成される運営推進会議は、隣接する看護小規模多機能型事業所と共に行われている。メンバーそれぞれの立場から意見が出されている。現場に直結する内容であれば、時間を置かず職員間で検討し運営に反映されている。